

南多摩納税貯蓄組合連合会優秀賞

子供のために税金を

多摩市立鶴牧中学校

三学年 加藤 美海

私たちの身近にあるのにこれまでほとんど考えたことがない、それが「税」だと思う。その仕組みも理解していないのに、私たちは当たり前のように消費税を払い、当たり前のようにいろいろなものに税は使われている。

今回、「税」について考えてみたとき、私は税金からお給料をもらっている職業について知りたいと思った。一括りにすると、いわゆる公務員という職業であるが、身近には祖母や叔母がそれにあたると知った。同じ先生でも公立学校と私立学校では異なること、大学教授ではみなし公務員という立場も存在することを知ることができたのは大きな発見だ。代表的な公務員としては警察官、消防士、自衛隊、市役所の職員、公立病院の職員、そして政治家などが挙げられ、私たちにとって非常に重要な役割を担う職業ばかりだ。この人たちは私や両親が納めた税金に見合った仕事をしてくれているのだろうか。私はほとんどの人は責任を持って自分の仕事をしてくれていると信じている。公務員がいなくなってしまうと私たちの日常生活が不安定になってしまうと思う。その公務員の人たちが安定したお給料をもらって安心して仕事ができるよう、私たち中学生にできることは何だろうと考えた。

内閣総理大臣はじめ国会議員、地方議員の政治家に伝えたい。税金の無駄遣いをやめて

ください。本当に私たち国民のことを考えてくれていますか？自分たちだけで考えるのではなく若い人たちのアイデアに耳を傾けてください。気候変動や危うい世界情勢、何よりもAI技術の急速な進歩に伴い、あらゆる物事も激しく変化しており、その流れに飲み込まれそうになる私は不安を覚える。これからまだまだ勉強して、やりたい仕事を見つけて、自分の将来に希望を持って生きていきたい。そのためにも、子供のために税金を使うことを考えてほしいのです。保育園や幼稚園、学童などの新設や職員確保のための給料アップに予算を投じることを躊躇しないでほしい。親が安心して子育てできる環境を充実させてほしい。そして何よりも、日本は子供の貧困率が高いという事実から目を背けず、喫緊の対策を打ち出してほしい。多くの国民が願うのは防衛費に予算を投じるのではなく、今日の前にいる子供たちが当たり前前の生活を送れるようにすることなのだ、と私は思う。